

美術・デザイン界で活躍する審査員が絶賛！多様な表現と出会う公募展
ポコラート全国公募展 vol.8 開催のご案内
 “「作品部門」124点「形にならない表現部門」4企画の入選作品を発表”



与那覇俊「7色PEN Story's(町並み)」

「ポコラート全国公募展」は、2011年の開始以来、障害のある人・ない人を問わず、多種多様な背景を持つ作者たちが作品を発表・展示する公募展。第8回目となる今回は、応募総数1,232点の中から入選を果たした124点、4企画の展示・発表を行います。

今回は新たな審査員として、美術家の奈良美智氏とアートディレクター・デザイナーとして第一線で活躍しながら美術活動も行う佐藤直樹氏が加わり、応募作品の表現の多様性に高い評価をいただきました。初日にはお2人のオープニング・トークを行い、審査の際に重視したポイントやご自身の制作活動についてお話しいただきます。さらに「形にならない表現部門」の入選作として、今年も「語り」や「くものを作る」などさまざまな表現があり、会期中には「アート講座」や「ワークショップ」として皆様にご参加いただけます。創造性にあふれた新たな表現に出会える本展を広くご周知いただきたく、ご協力を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

ポコラート全国公募展の特徴

- ・ 作者の障害のある・なしに関わらず、制作された作品は純粋に芸術作品として評価する。
- ・ 障害のある方にとって、福祉や医療の枠を越えた交流が生まれる場となっている。
- ・ 仕事の傍ら創作活動を行う方や、定年退職後に芸術を志した人も多く参加するなど、多様な背景を持つ方が応募。
- ・ 一昨年と昨年、それぞれ2名ずつ岡本太郎賞入選者を輩出しており、新人作家の才能発掘の場としての役割も担う。

ポコラート全国公募展 vol.8

□会 期：2018年7月21日(土)～8月19日(日) 12:00-19:00 ※最終入場 18:30

□休場日：毎週火曜日 ※8/13～8/16は全館休館の為、休場

□会 場：アーツ千代田 3331 | 1階 メインギャラリー 千代田区外神田6丁目11-14 旧練成中学校

□入場料：一般500円、65歳以上300円、中学生以下無料

※千代田区民は身分証明書のご提示で無料 ※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名は無料

□主 催：千代田区、アーツ千代田 3331

□特別協賛：中外製薬株式会社 □協賛：三菱地所株式会社

□U R L：<https://pocorart.3331.jp/> ※詳細はポコラートの公式HPで順次公開いたします。



*「ポコラート (POCORART)」とは Place of “Core+Relation ART” 「障害の有無に関わらず人々が出会い、相互に影響し合う場」であり、その「場」を作っていく行為を示す名称です。フランス語の〈アール・ブリュット〉(=純粋なる芸術)の意味をより広く捉えたアーツ千代田 3331 独自の概念です。

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 TEL: 03-6803-2441 (代表) FAX: 03-6803-2442

E-MAIL: pr@3331.jp (ポコラート担当: 嘉納・森本 / 広報担当: 岩垂・彦根・稲葉) URL: <http://www.3331.jp>

ポコラート全国公募展 vol.8 作品部門

作品部門では、応募作品 1,232 点の中から選ばれた入選作品 124 点を展示します。
作家たちの独創的でエネルギーに満ちあふれた作品がメインギャラリーを埋めつくします。

【応募・入選データ】

応募作品数	1,232点	入選作品数	124点
応募者数	743 組	入選者数	99 組
応募者のうち 障がいのある方	81.6%	入選者のうち 障がいのある方	75%

入選者数 (年代別)	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
	2	17	23	27	18	5	6	0	1
入選者数 (地域別)	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
	4	12	54	4	15	7	1	1	1

※障がいの有無は応募者の自己申告によるものです ※グループ制作など個人の詳細が不明なものは含まれていません

【作品部門 審査員】藤 浩志、佐藤 直樹、奈良 美智、中村 政人

【総評】



藤 浩志 (ふじ ひろし/美術家、秋田公立美術大学教授)

“作品を見終えたあと皆さんのエネルギーを浴びて、気持ちがいっぱいになりました。そのうえで美術では当たり前になっている「展示」することに縛られたリリースの方法だけではなく、作品が作られた背景や過程・性質の異なるものをどのように表現するのかという展示以外のアプローチがあってもいいのかなと感じました。”



2018年2月には全応募作品1,232点を一堂に公開・審査「ポコラート全国公募 vol.8 応募作品一挙公開！」より(2018年2月23日～25日 アーツ千代田 3331にて開催)

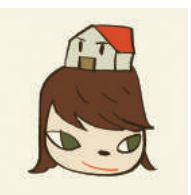


佐藤 直樹 (さとう なおき/多摩美術大学教授、アーツ千代田 3331 デザインディレクター)

“1回目、2回目と見てまわる度に目が合う作品が異なり、「ひとのくせ」を発見するおもしろさに出会えた。審査でなければ一日中ずっと見ていられるだろう。一般的な公募展はテーマやクオリティなどある程度の基準が設けられているが、ポコラートはそれと相反する動き方をしている、おもしろいと思う。”

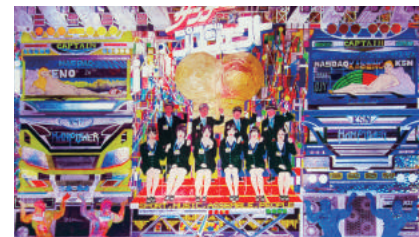


山本麻世「へその緒」2017
*展示予定作品



奈良 美智 (なら よしとも/美術家)

“はじめてみるような表現と、白い部屋のなかに置いたときに作品として自立できそうなもの、そして、自分の好みの作品を選んだ。自分で素材を見つけてきた人たちの作品は個性が際立っていて、まだまだこんな表現があったかと驚かされ、最後まで楽しめた。”



加瀬野祐介「Manpower (サンデープロジェクト)」2017
*展示予定作品



中村 政人 (なかむら まさと/アーティスト、東京藝術大学教授、アーツ千代田 3331 統括ディレクター)

“これまで全8回ポコラートで審査を行い、多くの作品をみてきたが、まだまだ作品の見方に慣れておらず、新鮮に感じられる。初めてみるものに対して、「これをどうみるか？」という問いは尽きず、10年単位で作品・作家を見続けないと説明がつかない。もしかしたら、審査する側が批評されているのかもしれない。”

今回の入選作品の中から、各審査員が1作品を選出する「審査員特別賞」、千代田区長 石川雅己氏による「千代田区長賞」、来場者投票による「オーディエンス賞」を選出します。会場投票は8月18日(土)まで。結果は8月19日(日)にWEBサイトと会場にて発表します。2019年初頭には賞の受賞者によるグループ展を開催

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 TEL: 03-6803-2441 (代表) FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp (ポコラート担当: 嘉納・森本/広報担当: 岩垂・彦根・稲葉) URL: http://www.3331.jp

ポコラート全国公募展 vol.8 形にならない表現部門

形にならない表現部門では、入選作品4企画を紹介します。

会期中、全入選作品の紹介展示に加え、アーツ千代田 3331 内で2企画のパフォーマンスを実施します。

【形にならない表現部門 審査員】藤 浩志、中村 政人、佐藤 直樹、大月 ヒロ子 (IDEA,INC. 代表取締役)

【選評と企画内容】下記の7/21 (土)、8/5 (日)の企画は公演やワークショップとしてご参加いただけます。

アート講座「デュシャンの泉100年」

企画者：山岸 玄武

デュシャンの泉
100年



7/21 (土)

13:00-14:00
(受付 12:30~)

定員：30名 参加費：300円
会場：1階 ラウンジ
※要予約

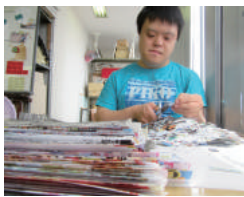
【選評】形にならないとは、このことだ。山岸さんが考えている事自体が表現と言いたい。何かの事象を感じ取り、論理性を見出しプレゼンテーションする。この一連の思考のプロセスそのものの事だ。デュシャンの泉は、「芸術」ではなく「芸術におけるゼロの発見」と言い切る。その言葉は、迷いがなく全てを見透かしているように明快。山岸さんは、研究者なのではないか？ そうだとするとどんな研究をしているのか？ 文献を読み込んで結論を導いているのか？ 直感的に組み立てているのか？ そもそも、だれに向けて、なぜプレゼンテーションをするのか？ その全貌を知りたい。(中村 政人)

【企画内容】マルセル・デュシャンが小便器を「泉」というタイトルで発表してから1世紀。「芸術とは何か？」という問いに、企画者の山岸さんが正面から切り込みます。今回の公演では「アート講座」という形式で発表を行い、独自の視点からデュシャンの泉を読み解いていきます。

ワークショップ「紙ふぶき」

企画者：吉田 興平

*会期中、メインギャラリーにて紹介展示を行います。



【選評】管理からの解放

淡々と冊子を切り続け、紙片を貯めたのち、一気に部屋に撒く。シンプルこの上ない表現だ。無論、事務所の一隅は紙片だらけになる。彼がそのような混沌が好きなのかといえば、机上の道具類をきちんと揃える一面もある。

紙ふぶきは、誰にとっても馴染みのあるものだが、日本では清掃管理や環境への配慮か、昔のように道端に紙ふぶきの片鱗が残っていることなどは無くなった。カーニバルのある国や、メキシコのくす玉人形割りのピニャータなどにはぎっしりと紙片が詰まっっていて、撒き散らされると同時に人々の気持ちは高揚する。紙ふぶきは管理からの一時の解放でもあり、彼の表現を見て、私はふと、知らず知らずのうちに杓子定規に固まった自分たちの暮らしを思う。(大月 ヒロ子)

【企画内容】吉田さんは雑誌を細長く切って、並べて、ひたすらチョコチョコと紙ふぶきを作ります。四角の大きさはその日の気分で、机の上に小さな山が出来ていきます。切り終わったら、投げて、ヒラヒラさせて、フーフー吹いて、おしまい。彼の作品はそのくり返しと連続性によって作りだされます。

ワークショップ「ことば+つむぐ ふんすいプール」

企画者：中村 和暉

8/5 (日)

14:00-15:00
(受付 13:30~)

定員：10名
参加費：300円
会場：1階 ラウンジ
※要予約



【選評】おもしろい！この表現形式は、あえて名付けるとするなら「詩」ということになるのだろうか。しかし、言語表現というのとは違う。ではボイスパフォーマンスだろうか。どうしてもこちらに「芸術とはたとえばこういう表現形式のものを差す」という先入観があるため、そんな探り方をしてしまう。なんという不自由だろうか。そこであらためて、繰り返し聞き直してみる。そうすると、様々な気付きがやってくる。なんだろう、この独特の感覚は。声がありリズムがあり意味がある。様式に収まっておらず、こういうことかなと思うやズれていく。まだ名付けられていない、しかし確たる「生」の力がしっかり伝わってくる。興味が尽きない。(佐藤 直樹)

【企画内容】中村さんは好きな場所、もの、歌やアニメのワンフレーズを思い出しては声に出して読み、画用紙に書き、表現を行います。ユーモラスで意表を突いた言葉の組み合わせ、ひとつひとつの単語を噛み締める様に読み上げる声が心地よく、ことばや文字の持つ面白さを再認識させてくれます。ワークショップでは中村さんの創作を、参加者が体験することができます。

創作活動「メリークリスマス！」

企画者：大西 祐史

*会期中、メインギャラリーにて紹介展示を行います。



【選評】単純に描くという行為を繰り返しているわけではない。様々なシールを貼り重ねることによってつくられたシンプルだが変化に富んだ膨大な数のクリスマスツリーは何か特別な意味があるかのように強く存在している。

しかし、その作品の背後に、さらにその数倍の廃棄された存在があったことを映像で知る。作家は作りかけの作品を裏返し、濡れた雑巾の塊で力強くこすり削る。その行為は職人が何かを磨く作業のように無心だ。ついに紙に穴が開き、空間が現れ、立体的に繋がった瞬間、手に持っていた雑巾を放り投げ、何かを確かめるようにビリビリと破り、重ねまた破り、さらに重ね破り破棄する。とても神聖で崇高な儀式を行っているようだ。その儀式の中で使われるピット糊も謎。謎が魅力の作品だと思う。(藤 浩志)

【企画内容】大西さんは紙の上に丸シールを鱗のように貼り詰めていきます。毎日3枚のクリスマスツリーを制作し、1枚目は保管、2枚目以降はぞうきんでこすり捨てます。その行為には迷いが無く、作ること、破くこと、その両方が彼の表現であるといえるでしょう。

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 TEL: 03-6803-2441 (代表) FAX: 03-6803-2442

E-MAIL: pr@3331.jp (ポコラート担当: 嘉納・森本/広報担当: 岩垂・彦根・稲葉) URL: http://www.3331.jp

ポコラート全国公募展 vol.8 関連イベント

オープニング・トーク 奈良 美智 × 佐藤 直樹

7/21 (土)

【登壇者】奈良 美智、佐藤 直樹

15:00-16:30

(受付 14:30~)

定員：50名 参加費：500円

会場：1階 ラウンジ

※要予約・先着順

「ポコラート全国公募展」初の試みとなるオープニング・トーク。今年はいじめて審査員を務めた2名に、審査の際に重視したポイントやご自身の制作活動について、じっくりお話を伺います。ポコラートを通して「芸術表現」とは？今回のイベントでしか聞くことのできない貴重な内容です。

入選者によるアーティスト・トーク

**7/22 (日)**

14:30-16:30

(受付 14:00~)

参加費：無料

※観覧会チケットが必要です。

会場：1階 メインギャラリー

※要予約

本展に入選された作者やそのご家族、介助者の方々と共にギャラリー内を巡り、出展作品の前で作品に対する思いや、日々の活動についてお話を伺います。当事者にしか語ることのできないエピソードによって、作品がより豊かな意味をもって見えてきます。

ポコラート会議 2018

**8/4 (土)**

第1部 17:15-18:30

(受付 16:45~)

第2部 19:00-20:30

(途中 30分休憩)

定員：50名 参加費：500円

会場：1階 コミュニティスペース

※要予約・先着順

※入替なし。1部、2部続けてご参加いただけます。

※1部のみ、2部のみのご参加も可能です。

第1部 17:15-18:30 「みんなで考えるポコラート」

作品が創作の場、発表の場を経て、その後社会と関わっていく上でどのように価値づけられ、評価されていくのか。美術、福祉など様々な現場で活躍する方々や過去の入選者の方々と共に意見交換を行います。

第2部 19:00-20:30 「審査員トーク」

【登壇者(予定)】大月 ヒロ子、佐藤 直樹、藤 浩志、中村 政人
「作品部門」と「形にならない表現部門」の審査員たちが、ポコラート全国公募展 vol.8 の入選作品やポコラートの今後の可能性について語ります。

アートコミュニケーターによる展覧会ツアーや関連企画も開催！

*詳細はポコラートの公式 HP にて順次公開致します。

<http://pocorart.3331.jp>

形にならない表現部門 2企画、関連イベント 参加申込概要

[お申込方法] ※開催日2日前の12時(正午)までにお申込ください。

■申込先

[E-mail] pocorart_entry@3331.jp [Tel] 03-6803-2441(代表) [Fax] 03-6803-2442

※件名：「(お申し込みのイベント名)申し込み」とご記入ください。

※メール環境のない方は、お電話またはFAXにて受付いたします。

■必要事項

① お名前(ふりがな) ② 当日のご連絡先(携帯電話など) ③ 障がいの有無と介助状態(介助者同伴など) ④ その他

※当日配慮することや必要な介助などがございましたらお知らせください。

※未成年者の場合、年齢をご記載ください。

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6丁目 11-14 TEL: 03-6803-2441 (代表) FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp (ポコラート担当: 嘉納・森本/広報担当: 岩垂・彦根・稲葉) URL: http://www.3331.jp